

漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査費

351百万円(350百万円)

地球環境局環境保全対策課

1. 事業の概要

漂流・漂着ゴミは、海浜景観を損なうのみならず、海洋環境の保全の面から重要視されている。より効果的な発生源対策や清掃運搬処理を進めるためには、漂着の状況と地域の特性を踏まえた取組が必要であり、地域全体の漂着ゴミの状況や地域特性について情報を収集し、対策の在り方と効果的な清掃運搬処理の手法を検討する。

2. 事業計画：(平成19年度～平成22年度)

19、20年度の2年間に、7県をモデル地域として選定し11海岸について調査を行う。平成20年度は、クリーンアップ調査、フォローアップ調査等を行う。

(1) 調査

クリーンアップ調査

漂着したゴミの分類、漂着経路や発生源の推定。

効果的・効率的な清掃処理処分方法の検討。

フォローアップ調査

ゴミが漂着する状況のモニタリング、漂着メカニズムの解析や効果的な清掃の頻度、方法等の検討。

(2) 検討会など

総括検討会は全国的な視点による検討を行い、また、地域検討会はそれぞれの地域に設置し地元の懸案事項について検討を行う。

関係者間の連携の推進及び効果的な検討に活用する。

3. 施策の効果

本事業の結果、国内における効果的な対策手法の開発が行われ、国際的な連携を通じ、漂流・漂着ゴミの削減を図り、もって海洋環境保全に資する。

4 . 備考

職員旅費 1 , 4 7 4 千円

漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査 1 , 4 7 4 千円

委託費 3 4 9 , 2 1 9 千円

漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査 3 4 9 , 2 1 9 千円

漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査費

目的：漂着ゴミの状況と対策のあり方や、効果的な清掃運搬処理の手法を検討し、漂流・漂着ゴミ対策を行う。

平成19年度終了

3種類の調査

概況調査

モデル地域を含む一連の海岸線について、概況を調査

クリーンアップ調査

共通調査
独自調査

フォローアップ調査

分類結果を解析

平成20年度実施予定

2種類の検討会

総括検討会

全国的な視点
専門家による検討

地域検討会

7地域に設置
地域特有の課題の検討

国際連携

NOWPAP

(北西太平洋地域海行動計画)
等を通じた国際連携

漂流・漂着ゴミの削減、海洋環境保全に資する。